取扱説明書

HEM-8712
オムロン 上腕式血圧計

All for Healthcare

OMRON

このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。

■本製品の使用目的は、健康管理のために、収縮期（最高）血圧および拡張期（最低）血圧を測定することです。

■本書は、いつもお手元においてご使用ください。

■本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

■本書に記載しているイラストはイメージ図です。

■安全にお使いいただくため、取扱説明書を必ずお読みください。

5130618-4D

1. 入っていますか？

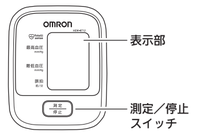
箱の中には次のものが入っています。
不足のものがありましたら、オムロンお客様サービスセンター
（電話 0120-30-6606）までご連絡ください。

1. 本体
2. 腕帯（型式 HEM-CR24）
3. お試し用電池（単 3 形アルカリ乾電池 4 個）
4. 取扱説明書（本書：品質保証書付き）
5. 医療機器添付文書
6. EMC 技術資料

2. 各部の名前

本 体

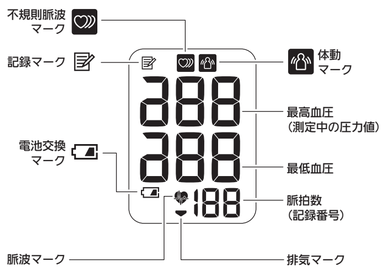
【正面】



【側面／背面】

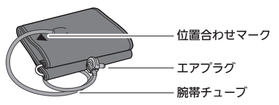
【下面】

表示部



腕 帯

型式 HEM-CR24
対象腕周 22～32 cm
（上腕中央部）



・腕帯は消耗品です。
・血圧を正確に測るために、1 年に 1 回の交換をお勧めします。
・空気漏れが生じたら、別売品をお買い求めください。
（☞「15. 別売品」）

3. 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。
ここに示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

■警告、注意について

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定されます。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害 * の発生が想定されます。

* 物的損害とは、家屋や家財、および家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

⚠警告

一般的なことについて

- けがや治療中の腕で測らない。
- 点滴、輸血をしている腕で測らない。
  ▶症状の悪化につながることがあります。
- 可燃性ガスや高濃度酸素環境下など火災や爆発の恐れがある場所で使わない。
  ▶火災や爆発の原因となります。
- 乳幼児などの手の届くところに保管しない。
  ▶エアプラグや電池など小さい部品を飲み込んだり、腕帯チューブや電源コードなどで首が絡まったりし、窒息や傷害に至ることがあります。

⚠注意

一般的なことについて

- 測定結果の自己判断をしない。
- 治療を自己判断で行わない。
- 耐用期間を超えて使わない。
- 医療機関や公共の場所において不特定多数で使わない。
- 乳幼児など自分で意思表示できない人に使わない。
  ▶症状の悪化や傷害の発生、誤動作の原因になります。

次のいずれかの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。
- 使用中に皮膚炎など肌の異常を感じる場合
- 血行障害が長く発生する場合
- 透析治療中や動静脈ろうがある場合
- 重度の血行障害や血液疾患がある場合
  ▶傷害を負う原因になります。

次のいずれかの状態や症状をお持ちの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。
- 一般的な不整脈（心房性、心室性早期収縮、心房細動など）
- 動脈硬化症　• 糖尿病　• 腎臓疾患　• かん流低下
- 妊娠中や子かん前症（妊娠中毒症）
- 乳腺切除した方　• 未成年の方
  ▶正しく測定できないことがあります。

- 異常の発生を感じたとき、腕帯を腕につけたままにしない。
- 腕帯や腕帯チューブに折りじわが付いたまま測らない。
- 腕帯チューブのねじれやもつれがある状態で測らない。
- 必要以上の頻度で測らない。
- 必要以上に加圧しない。
  ▶傷害を負う原因になります。

- 指定外の腕帯やエアプラグを使わない。
- エアプラグを抜くときにエアプラグを持たずに腕帯チューブを引っ張らない。
- 本体や腕帯などを分解したり、改造したりしない。
  ▶本体の故障や破損、傷害を負う原因になります。あるいは、正しく測定できないことがあります。

- 測定中に血圧計の近くで携帯電話やスマートフォンを使わない。
- 電気メスなど電気手術器や MRI、CT スキャナーなど他の医療機器がある場所で使わない。
- 乗り物内で使わない。
- 血圧測定以外の目的で使わない。
  ▶危険や誤動作の原因になります。

- 測定中に体を動かさない。
- 寒さなどで体が震えるときに測らない。
- 対象腕周外で使わない。
- 腕帯の巻き方や測定姿勢を不適切にしない。
- 指定外の場所や条件で保管したり、使ったりしない。
- 使用するところと保管場所に温度差があるときは、すぐに測らない。
  ▶正しく測定できないことがあります。

電池について

- 電池の液が目に入ったら放置しない。すぐに多量の水で洗い流し、医師の指導を受ける。
- 電池の ⊕⊖ 極を間違えて入れない。
- 電池を使い切ったときや長期間使用しないとき、電池を本体内に入れたままにしない。
- 電源が入ったまま、電池交換を行わない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- メーカーや銘柄の異なる電池を混ぜて使わない。
- 指定外の電池を使わない。
- 推奨期限の過ぎた電池を使わない。
  ▶けがの発生や本体故障の原因になります。

AC アダプタ（別売）について

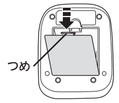
- コンセントや延長コードなど配線器具の定格を超えて使わない。
- コードやプラグが傷んだ状態で使わない。
- 交流 100 V 以外で使わない。
- 指定外の AC アダプタを使わない。
- 電源プラグを抜くときに AC アダプタ本体を持たずに電源コードを引っ張らない。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグの差し込みが緩いまま使わない。
- ほこりなどゴミやピンが付着したまま使わない。
- 長時間使用しないとき、電源プラグを差し込んだままにしない。
- 電源プラグを差し込んだまま、手入れを行わない。
- 破損させない（電源コードを傷つけない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、使用時に束ねない、重いものを載せない、挟み込まない）
  ▶火災や感電、本体故障の原因になります。

- 電源プラグの抜き差しが困難な場所で使わない。
  ▶異常発生時に電源の遮断が遅れ、事故や火災の原因になります。

4. 準備をする

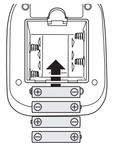
1 本体下面の電池カバーを外す

つめを押して持ち上げます。



2 電池を入れる

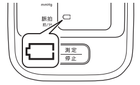
ばねの出ている方が ⊖ です。



3 電池カバーを閉める

電池カバーはカチッと音がするまで閉めます。

電池交換について



点灯：電池残量が少なくなっています。
点灯：電池残量がなくなりました。
同じ種類の新しい単 3 形アルカリ乾電池 4 個と交換してください。

・電池は、本体の電源を切ってから交換してください。
・使用済みの電池は、お住まいの市区町村の指導にしたがって処分してください。

重要
単 3 形アルカリ乾電池で約 300 回測れます。（当社試験条件による）
付属の電池はお試し用です。300 回以内で切れることがあります。

5. 腕帯を巻く

・腕帯を正しく巻きましょう。
・トイレは先にすませましょう。
・寒すぎたり暑すぎたりしない部屋で測りましょう。
・素肌か、薄手の肌着などの上から測ってください。
・厚い衣服を着ているときは、腕まくりをせずに、脱いでから測ってください。

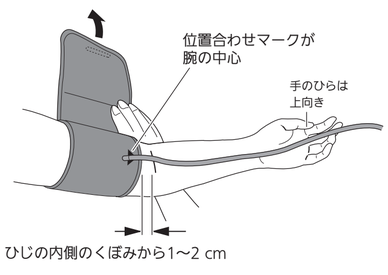
1 腕帯のエアプラグを腕帯コネクタにしっかりと差し込む

外れかけていると正しく測れません。

2 左腕を腕帯にとおす

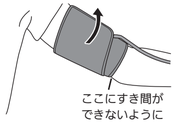
腕帯チューブが、
手のひらの先に向くようにします。
位置合わせマークが、中指の延長線上にくるようにします。

3 腕帯の端を外側に引っ張りながら腕帯の位置を決める



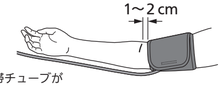
4 面ファスナーで固定する

腕と腕帯の間にすき間ができないように、腕の形に添ってぴったり巻いてください。
腕帯が斜めになったり、腕帯チューブの上から固定したりしても、測定結果に影響はありません。

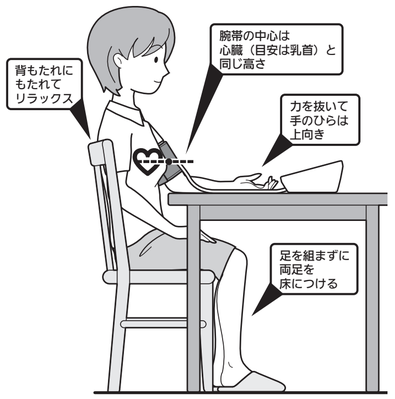


右腕で血圧を測るとき

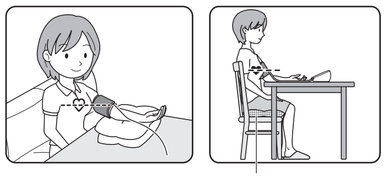
腕帯チューブをひじでつぶさないでください。



6. 正しい姿勢を確認する



腕帯の中心が心臓の高さに合っていない場合は、下図のようにクッションやタオルなどをひじの下に置いたり、椅子に座ぶとんを敷いたりして、高さを調整してください。

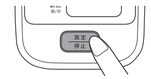


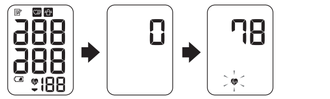
7. 血圧を測る

・最高血圧が 210 mmHg を超えると予測されるときは、「8. 手動加圧で測る」を参照してください。
・測定中に腕帯を触らないでください。
・続けて測るときは、間隔を空けてください。

1 測定／停止スイッチを押す

電源が入り、自動的に測定が始まります。





測定を中止したいときは、測定／停止スイッチを押して、電源を切ってください。
腕帯の空気が抜けます。

2 測定結果を確認する

測定結果は自動的に記録されます。
（☞「9. 測定記録を見る」）

体動マーク
測定中に体を動かしたりすると点灯します。
正しく測れていませんので、もう一度測ってください。

不規則脈波マーク
測定中の脈波の間隔が不規則なときに点灯します。
正しく測れていないことがありますので、安静にして、もう一度測ってください。頻繁に点灯するときは、医師にご相談ください。

3 腕帯を取り外す

4 測定／停止スイッチを押して、電源を切る

電源を切り忘れても約 2 分後に自動的に電源が切れます。

8. 手動加圧で測る

最高血圧値が 210 mmHg を超えると予測されるときや、エラー表示（ E□□ ）が頻繁に出るときは、手動加圧で測ってください。

・手動加圧をする前に「5. 腕帯を巻く」「6. 正しい姿勢を確認する」をよく読んでください。

1 腕帯を巻いて測定／停止スイッチを押す

加圧が始まります。

2 加圧が始まったら、もう一度、測定／停止スイッチを押し、そのまま押し続ける

・手動加圧では、299 mmHg まで加圧することができますが、必要以上に加圧をしないでください。
一時的に内出血が発生することがあります。
・300 mmHg 以上加圧するとエラーになります。

手動加圧中

下から上へ順に点灯を繰り返します。

3 圧力値が、予測される最高血圧値よりも約 40～50 mmHg 高く上がったとき、測定／停止スイッチを離す

減圧が始まり、測定を開始します。

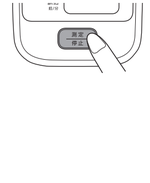
4 以降の操作は「7. 血圧を測る」の手順 2～4 を参照してください。

9. 測定記録を見る

前回の測定結果が記録されます。

1 測定／停止スイッチを 5 秒以上押し続ける

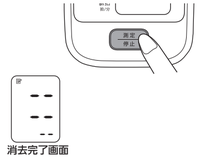
前回の測定結果が表示されます。



2 測定／停止スイッチを押して、電源を切る

記録を消去する

1. 測定／停止スイッチを 15 秒以上押し続ける



2. 測定／停止スイッチを押して、電源を切る

裏面に続きます

10. 保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後 1 年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）品質保証書の提示がない場合。
（ホ）品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
（ヘ）消耗部品。
（ト）故障の原因が本製品以外に起因する場合。
（チ）その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 補修用部品は製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。

品 質 保 証 書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただき、ありがとうございました。製品は厳重な検査をおこない、高品質を確保しておりますが、しかし、通常のご使用において、万一不具合が発生しましたときは、保証規定により、お買い上げ後 1 年間は無償修理または交換いたします。
製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。This warranty is valid only in Japan.

お客様	販売店
商品型式名　HEM-8712	お買い上げ店名　㊞
ご芳名	住　所
ご住所	TEL　（　）
TEL　（　）	お買い上げ日　年　月　日

製造販売元 オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

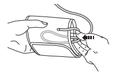
製品のお問い合わせ、別売品や消耗品のご注文、修理のご依頼は

オムロン ヘルスケア お客様サポート
http://www.healthcare.omron.co.jp/support/
オムロン お客様サービスセンター
TEL 0120-30-6606（通話料無料）　FAX 0120-10-1625（通信料無料）
受付時間：00～19：00（祝日を除く月～金）
〒515-8503 三重県松阪市久保町1855-370
※都合により、お休みや受付時間の変更をさせていただく場合があります。

11. 片付ける

1 エアプラグを腕帯コネクタから抜く

2 腕帯チューブを軽く折り曲げて腕帯に入れる



腕帯チューブを無理に折り曲げないでください。
正しく測れなくなります。

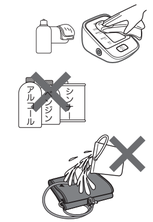
■保管時のお願い

ご使用になるところと保管場所に温度差がある場合は、使用前にしばらく置いてからお使いください。

次のようなところに保管しないでください。

- 水のかかるところ。
- 高温・多湿、直射日光、ほこり、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- 傾斜、振動、衝撃のあるところ。
- 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

■お手入れ時のお願い



- 血圧計はいつも清潔にしてください。
- 本体や腕帯の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- 本体や腕帯の汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取り、やわらかい布でから拭きしてください。
- 本体内部に水などが入らないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- 腕帯は洗濯できません。
- 腕帯をぬらさないでください。

■廃棄時のお願い

- 本体、腕帯、AC アダプタ、電池を廃棄するときは、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

12. 測定Q&A

Q 測るたびに測定値が違うのですが…

A 血圧は、時々刻々と変化しています。よく知られる変動として、1 日の中の変動（日内変動）や日ごとの変動（日間変動 または 日差変動）があります。また、1 週間の中の変動（週内変動）や、寒い冬に高く、暑い夏に低くなる季節変動も知られています。これらの血圧変動の幅やパターンには個人差があります。家庭血圧を測って、ご自分のパターンを知り、血圧管理に役立ててください。

測定を上手に行うために次のことに気をつけましょう。

・安静時間を取りましょう。
測定を始める前に、1 ～ 2 分の安静時間を取りましょう。
安静が十分取れていないと、血圧が安定せず、測定値がばらつきやすくなります。

・いつも決まった時に測りましょう。
朝は起床後 1 時間以内、晩は就寝前など毎日決まった時に測りましょう。

・血圧は常に変化しています。
続けて測定した場合、後の血圧の方が低い傾向があることが知られています。

・快適な室温で測りましょう。
寒すぎたり、暑すぎたりすると、血圧が一時的に変動します。
快適な室温のもと測定してください。

・血圧が一時的に変動する要因を知りましょう。
次のようなときは、血圧が一時的に変化することが多いといわれています。
しばらく時間をおいてから試してみましょう。

食事　飲酒　カフェイン飲料
喫煙　運動や身体を使う作業　尿意・便意
会話　入浴

A 正しい姿勢や服装、腕帯の巻き方で測りましょう。
前かがみなど、無理な姿勢は血圧を上昇させます。無理のない、リラックスできる姿勢で測りましょう。

前かがみで測定すると、腹部に圧力がかかり、血圧が高くなります。

測定中に会話すると、血圧が上昇します。

測定中に動いたり腕帯を触ると、脈の検出が乱れて誤差が生じます。

ひじや腕で腕帯チューブを押さえてしまうと、正しく測定できません。

厚手の袖の上から腕帯を巻くと、腕帯の圧迫力が血管に伝わらず、高く測定されます。

袖をまくり上げると、血管が圧迫され、腕の血圧が影響されます。

腕帯を緩く巻くと、正しい測定結果が表示されません。

Q 病院での値に比べて低いのですが…

A 病院での血圧は普段より高く出ることがあります。
病院では、身体活動や精神的緊張によって、無意識に血圧が高くなっていることが少なくありません。日本高血圧学会の治療ガイドラインでは、家庭血圧を優先して診療するよう推奨されています。血圧の記録を医師に持参して相談しましょう。

Q 病院での値に比べて高いのですが…

A 安静時間を取りましょう。
測定を始める前に、1 ～ 2 分の安静時間を取りましょう。安静が十分取れていないと、高めに測定されやすくなります。

A 家庭で測った血圧を医師に持参して相談しましょう。
病院での血圧が正常でも、家庭での値が高い場合には、治療が必要な場合があります。すでに治療を受けている方は、お薬や服薬時間の調節が必要かもしれません。血圧の記録を医師に持参して相談しましょう。

Q 腕帯の締め付けで、痛みやしびれを感じるのですが…

A 一時的なもので、心配ありません。
血圧測定時は、腕帯の締め付けにより、痛みやしびれを感じることがありますが、腕帯を外してしばらくすると治まります。症状が長く続く場合は、医師にご相談ください。

Q 〰 が表示されました。不整脈でしょうか？

A 〰 不規則脈波マークが表示されても、不整脈とは限りません。
マークが表示されても、不整脈とは限りませんが、頻繁に表示される場合には、医師にご相談ください。不規則脈波マークは、測定中に脈が適切に検出されないときに表示されます。

13. エラー表示

エラー表示	原　因	対処のしかた
E1	エアプラグが外れかけている。	エアプラグをしっかりと差し込んでください。（☞「5. 腕帯を巻く」）
	腕帯を正しく巻いていない。	腕帯を正しく巻いてください。（☞「5. 腕帯を巻く」）
E2	測定中に腕や体を動かしたため、適切に加圧されていない。	腕や体を動かさないでください。再度「E2」が出るときは、手動加圧で測ってください。（☞「8. 手動加圧で測る」）
E3	300 mmHg 以上加圧している。	測定中に腕帯を触らないでください。手動加圧時は、目的の圧力値まで加圧したら、測定／停止スイッチを離してください。（☞「8. 手動加圧で測る」） 測定中に腕帯チューブが折れ曲がらないようにしてください。
E4	測定中に腕や体を動かしたり、会話をしたりしている。	腕や体を動かしたり、会話をしたりしないでください。（☞「6. 正しい姿勢を確認する」）
ES	測定中に腕や体を動かしたため、脈が適切に検出されていない。	腕や体を動かさないでください。（☞「6. 正しい姿勢を確認する」）
	上着の上から腕帯を巻いている。 まくりあげた袖で腕を圧迫している。	上着を脱いで、腕帯を巻き直してください。（☞「5. 腕帯を巻く」）
▭ A1	電池が消耗している。	4 個同時に新しい電池と交換してください。（☞「4. 準備をする」）
Er	本体が故障している。	オムロンお客様サービスセンター（電話 0120-30-6606）まで修理の依頼をしてください。

14. 故障かな？

こんなとき	原　因	対処のしかた
測定結果が異常に高い（低い）。	腕帯を正しく巻いていない。	腕帯を正しく巻いてください。（☞「5. 腕帯を巻く」）
	測定中に腕や体を動かしたり、会話をしたりしている。	静かに測ってください。（☞「6. 正しい姿勢を確認する」）（☞「12. 測定 Q&A」）
	まくりあげた袖で、腕が圧迫されている。	上着（下着）を脱いで腕帯を巻き直してください。（☞「5. 腕帯を巻く」）
圧力が上がらない。	エアプラグが外れかけている。	エアプラグをしっかりと差し込んでください。（☞「5. 腕帯を巻く」）
	腕帯が空気漏れしている。	別売の新しい腕帯をお買い求めください。（☞「15. 別売品」）
	腕帯の巻き方が緩すぎる。	腕と腕帯の間にすき間ができないように、ぴったり巻いてください。（☞「5. 腕帯を巻く」） ぴったり巻かないと、腕帯に余分な圧力がかかり、腕帯の寿命が短くなります。
血圧計が正常に働き、正しく測っても… ・病院での値より高い（低い）。 ・測るたびに値が違う。		「12. 測定 Q&A」を参照してください。（☞「12. 測定 Q&A」）
加圧中に電源が切れる。	長期間使用しなかったか、温度変化により電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。（☞「4. 準備をする」）
どのスイッチを押しても何も表示しない。	電池を入れずに使用していて、専用 AC アダプタ（別売）が、血圧計やコンセントから外れている。	専用 AC アダプタ（別売）を、血圧計とコンセントに正しく接続してください。（☞「15. 別売品」）
	電池が完全に消耗している。	新しい電池と交換してください。（☞「4. 準備をする」）
	電池の ⊕⊖ の向きが間違っている。	電池を正しく入れてください。（☞「4. 準備をする」）
その他の現象		測定／停止スイッチを押し直して、最初からやり直してください。 電池を交換してください。 解決しないときは、オムロンお客様サービスセンター（電話 0120-30-6606）までお問い合わせください。

・上記の方法でも、正常に測れないときは、故障が考えられます。
製品の故障および修理の依頼につきましては、オムロンお客様サービスセンター（電話 0120-30-6606）までお問い合わせください。
・本製品の故障や修理のときは、測定記録などが全て消去されます。
・ごくまれに、体質と誤差を生じて、正しく血圧を測れないことがあります。
オムロンお客様サービスセンター（電話 0120-30-6606）にご相談ください。

15. 別売品

別売品のお求めは、オムロンお客様サービスセンター（電話 0120-30-6606）までご連絡ください。

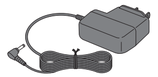
■腕帯
型式 HEM-CUFF-R24GY（HEM-CR24）
対象腕周 22～32 cm（上腕中央部）
本製品に付属している腕帯と同じです。

■太腕用腕帯
型式 HEM-RML31
対象腕周 32 ～ 42 cm（上腕中央部）

■細腕用腕帯
型式 HEM-CUFF-S24GY（HEM-CS24）
対象腕周 17 ～ 22 cm（上腕中央部）

別売の腕帯にはエアプラグがついていません。
エアプラグは捨てないで、新しい腕帯につけ替えて使用してください。

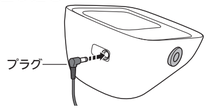
■専用 AC アダプタ
型式 HHP-AM01



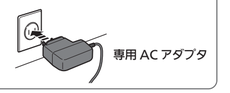
専用 AC アダプタ（別売）を使用するとき

・専用 AC アダプタと電池を併用すると、電池の消耗が遅くなります。
・専用の AC アダプタ以外は使用しないでください。

1. 専用 AC アダプタの本体用プラグを、本体のコネクタに差し込む



2. アダプタをコンセントに差し込む



16. 仕　様

医療機器認証番号	225AABZX00102000
類　別	機械器具 18 血圧検査又は脈波検査用器具
一般的名称	自動電子血圧計
医療機器分類	管理医療機器
販　売　名	オムロン 上腕式血圧計 HEM-7120 シリーズ
商品型式名	HEM-8712
表示方式	デジタル表示方式
測定方式	オシロメトリック法
腕帯圧力表示範囲	0～299 mmHg
血圧測定範囲	20～280 mmHg
脈拍数測定範囲	毎分 40～180 拍
測定精度	圧力／ ±3 mmHg 以内 脈拍数／読み取り数値の ±5%以内
加　圧	自動加圧方式（ファジィコントロール）
減　圧	自動排気弁方式
排　気	自動急速排気方式
電　源	単 3 形アルカリ乾電池 4 個 専用 AC アダプタ（別売）（入力：AC100 V、50/60 Hz、10 VA）
電池寿命	約 300 回（単 3 形アルカリ乾電池使用時、当社試験条件による）
耐用期間	本体（腕帯を除く）： 30,000 回もしくは 5 年のいずれか早く到達した方
	腕帯： 10,000 回もしくは 1 年のいずれか早く到達した方
使用環境温湿度	+10～+40℃・30～85%RH
保管環境温湿度	−20～+60℃・10～95%RH
質　量	約 250 g（電池含まず）
外形寸法	約 幅 103 × 高さ 80 × 奥行き 129 mm
腕　帯	約 幅 145 × 長さ 466 mm（質量約 130 g） チューブ長さ 610 mm
電撃保護	AC アダプタ使用時　：クラスⅡ機器
	AC アダプタ未使用時：内部電源機器
装着部の分類	BF 形装着部（腕帯）
IP 保護等級	IP21（専用 AC アダプタ（別売）のみ）
付属品	腕帯（型式 HEM-CR24、対象腕周 22～32 cm）、 お試し用電池（単 3 形アルカリ乾電池 4 個）、 取扱説明書（品質保証書付き）、医療機器添付文書、 EMC 技術資料
製造販売元	オムロン ヘルスケア株式会社 住所：〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地 電話：0120-30-6606（オムロンお客様サービスセンター）

お断りなく仕様を変更することがあります。
本製品は JIS 規格 JIS T1115：2005 に適合しています。
IP 保護等級とは、IEC（国際電気標準会議）60529 によって規定された本体による保護構造を等級分類するものです。専用 AC アダプタは、指などの直径 12 mm 以上の固形物に対して保護されています。また、垂直に落下してくる水滴に対して、動作の妨げがないように、保護されています。

製品に表示されているシンボルの意味

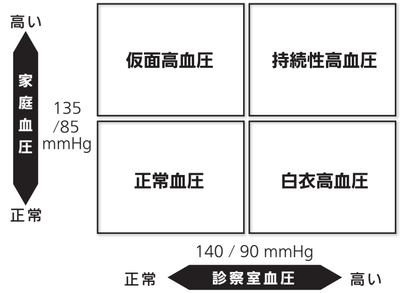
	クラスⅡ機器
	BF 形装着部
	取扱説明書をお読みください
	安全にお使いいただくため、取扱説明書を必ずお読みください
	交流
	直流
	屋内専用
	製造日
	製造業者
LOT	ロット番号
	電源の極性

お使いの製品によっては上記のシンボルが製品に表示されていない場合があります。

17. 血圧の知識

家庭血圧の重要性とは

家庭血圧とは、家庭で測定した血圧のことです。病院という特殊な環境で、たまにしか測らない血圧（診察室血圧）よりも、普段の環境で毎日測定できる家庭血圧の方が、身体の状態をよく反映し、治療効果も正確に評価できることが知られています。また、自分の血圧を測り、知ることで、健康への意識や治療の積極性が高まり、治療効果が改善するとの研究結果も報告されています。
家庭血圧を測ることで、次のような高血圧のタイプを見つけることができます。



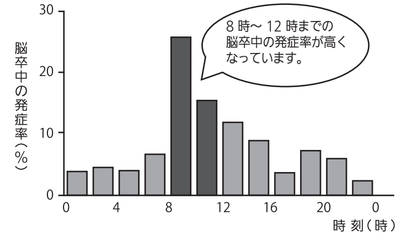
白衣高血圧
診察室血圧は高いが（最高血圧が 140 mmHg 以上、または最低血圧が 90 mmHg 以上）、家庭血圧が正常（最高血圧が 135 mmHg 未満、かつ最低血圧が 85 mmHg 未満）の状態をいいます。普段の血圧が正常なため、すぐに治療を始める必要はありません。ただし、高血圧になりやすいという研究報告もあり、家庭血圧を定期的に測ってチェックすることが大切です。

仮面高血圧
家庭血圧（普段の血圧）が高いのに、診察室血圧が正常なケースです。すぐに治療を検討する必要がありますが、普段の高血圧が医師に分からないため、治療が遅れて重症化につながりやすい、危険なタイプとされます。家庭血圧の測定は、この危険な状態の発見を助け、早期の診療につなげます。

持続性高血圧
診察室血圧と家庭血圧の両方とも高いケースです。確実な高血圧であり、仮面高血圧と同じく、治療対象になります。

早朝高血圧

起床時の血圧が高い状態をいいます。診察室血圧では検出できないため、仮面高血圧の一種とされます。脳卒中や心筋梗塞、突然死などは午前中に多いですが、その原因の一つが早朝高血圧と考えられています。



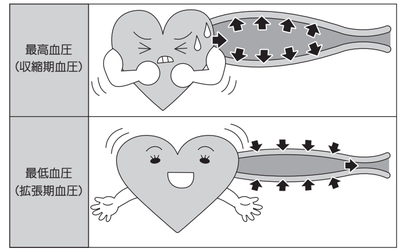
Marler JR, et al. Stroke 1989;20;473-476 より作成

・高血圧の疑いがあって受診するときは、家庭で測定した血圧の記録があれば、医師の診断の参考になります。
・高血圧に関する知識を当社ホームページでご紹介しています。

http://www.healthcare.omron.co.jp/resource/guide/hightbp/
QRコード

血圧とは

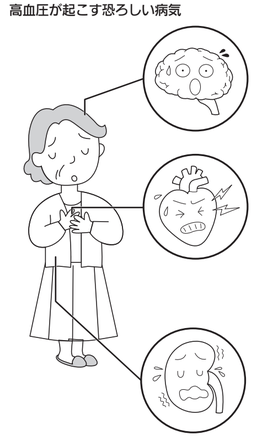
心臓は、血液を身体のすみずみまで届けるため、血液に圧力をかけて血管に送り出しています。血圧とは、この血管の中の圧力のことです。
心臓は、拡張して中に血液をため込み、収縮して血液を送り出す動作（心拍といいます）を 1 日に約 10 万回くり返しています。
1 回の心拍は、心臓が収縮して血液を送り出す収縮期と、拡張して次の血液をため込む拡張期に分かれます。この収縮期の間で一番高くなった時の血圧を最高血圧または収縮期血圧といいます。上の血圧と呼ばれることもあります。
拡張期の間、血管の中の血液は徐々に下流に流れ出ていくため、血圧が下がっていきます。次の収縮期が始まる直前、血圧は最も低くなり、これを最低血圧、拡張期血圧、または下の血圧といいます。



血圧と健康について

高血圧とは、高い血圧が持続する状態のことです。
高血圧は動脈硬化を起こして動脈をいため、脳卒中や心臓病、腎臓病などの命にかかわる病気のもととなります。
また、糖尿病や認知症の発症・進行にも高血圧が関係することが知られています。

高血圧が起こす恐ろしい病気



脳血管疾患
脳の血管が動脈硬化でもろくなり破れて出血を起こす脳出血や、脳の血管が詰まって脳の細胞が死んでしまう脳梗塞が起こりやすくなります。

心臓病
心臓を動かす筋肉（心筋）に通じる動脈が動脈硬化になると、胸痛を起こす狭心症や、心筋が死んでしまう心筋梗塞を起こします。また、高血圧は、心臓が血液を送り出す筋げとなり、心不全の原因にもなります。

腎臓病
腎臓の血管がいたむと、老廃物や過剰な塩分を排泄できなくなります。それが、さらに血圧を高めるという、悪循環におちいります。重症化すると人工透析が必要になります。